



## 新着図書案内

『ブレイクショットの軌跡』 逢坂冬馬 早川書房



自動車期間工の本田昂は、2年11ヶ月の寮生活最終日、同僚がSUVブレイクショットのボルトをひとつ落とすのを目撃し…。移り変わるブレイクショットの所有者を通して、現代日本の諸相と複雑なドラマが展開される8つの物語。

『龍の守る町』 砥上裕将 講談社



秋月龍朗は最高の消防士だった。5年前のあの日、濁流が町と彼の心に、癒えない傷跡を刻むまでは。現場を追われ、辿り着いた指令室。そこは、同じ痛みを抱える仲間たちと、声だけで命を繋ぐ場所。「水害」と「消防」の闘いを描く。

『オオルリ流星群』 伊与原新 KADOKAWA



人生の折り返し地点を過ぎ、将来に漠然と不安を抱える久志は、天文学者になった同級生・彗子の帰郷の知らせを聞く。手作りで天文台を建てるという彼女の計画に、高校3年の夏、ともに巨大タペストリーを作ったメンバーが集結するが…。

## | その他新着図書

- 『魔法科高校の劣等生 1~3』 佐島勤 / 『すべての神様の十月 2』 小路幸也
- 『文豪ストレイドッグス 探偵社設立秘話』 朝霧カフカ
- 『文豪ストレイドッグス 55 Minutes』 朝霧カフカ
- 『キッチン常夜灯 夜ふけのオニオングラタンスープ』 長月天音

2026  
2  
VOL.10

『最後の一色 上・下』 和田竜 小学館



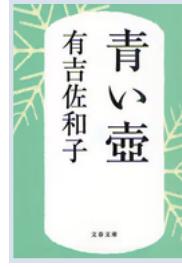
織田信長による天下布武の軍団が日本全土を侵略していくなか、その怪物は戦場にあらわれた。名を五郎と言った。17歳の青年は、父亡き後の圧倒的不利な状況下で、凄惨な戦闘を繰り広げ、その場にいた全ての人間を恐怖に陥れる。

『探偵小石は恋しない』 森バジル 双葉社



ミステリーオタクの探偵・小石は、名探偵のように華麗に事件を解決する日を夢見ているが、事務所へ届く依頼は9割9分が色恋調査。ところが依頼を受けた調査の意外な真相を目の当たりにする裏で、思いもよらない事件が進行していく…。

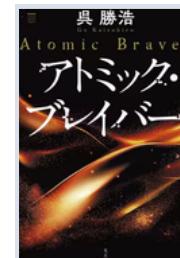
『青い壺』 有吉佐和子 文藝春秋



無名の陶芸家が生み出した美しい青磁の壺。売られ盗まれ、十余年後に作者と再会するまでに壺が映し出した数々の人生。定年退職後の虚無を味わう夫婦、観察眼に自信を持つ美術評論家…。人間の有為転変を鮮やかに描いた有吉文学の傑作。



『アトミック・ブレイバー』 吳勝浩 光文社



小型核爆弾による世界同時多発テロから27年。平凡なサラリーマン・堤下与太郎は、突如世界の命運を任される。与太郎だけがプレイできる格闘ゲームの海賊版に、世界を揺るがすシステムに関わる鍵が。ゲームに勝って、世界を救え！

『火星の女王』 小川哲 早川書房



地球外知的生命の探求のために人生をかけて火星にやってきた生物学者のリキ・カワナベは、とある重大な発見をする。一方火星生まれの少女、リリーE 1102は、地球への観光を夢みて遠心型人工重力施設に通っていた…。

『白魔の檻』 山口未桜 東京創元社



研修医の春田は、過疎地医療協力で派遣される城崎と、温泉湖の近くにある山奥の病院へと向かう。しかし、2人が辿り着いた直後、病院一帯は濃霧に覆われ出入り不可能に。そんな中、院内で変死体が発見され…。シリーズ第2弾。

『きみの存在を意識する』 梨屋アリエ ポプラ社



中2になり、担任は読書活動に熱心。冊数を班で競うのに、ひすいは本を読むことが難しい。クラスには書字が困難な子もいて。さまざまな、見えにくい困難を抱える子どもたち。彼らは葛藤し、何かをつかんでいく。

『エピクロスの処方箋』 夏川草介 水鈴社



大学病院で数々の難手術を成功させ将来を嘱望されながらも、母を亡くし一人になった甥のために地域病院で働く内科医の雄町哲郎。ある日、彼の力量に惚れ込む大学准教授の花垣から、難しい症例が持ち込まれる。『スピノザの診察室』 続編。

『鎌倉茶藝館』 伊吹有喜 光文社



夫と死別。勤務先も倒産し、生きる気力を失った美紀。最後の旅先に選んだのは、青春の記憶が残る鎌倉。しかし、思い出の地の山中で道に迷い、美紀は古い洋館の台湾カフェ「鎌倉茶藝館」に飛び込み…。大人の女性の戸惑いと決断を描く。

『女王さまの休日』 古内一絵 中央公論新社



「終わりなんかじゃない。私たちの旅は、まだ始まったばかりだ。」マカン・マランの店主シャールと、常連客のフリーライター、さくら、そしてジャダが加わって、台湾に出向くことに。食、物、歴史、そして人々の新たな出会いとは。

## 地歴公民科推薦本

『台湾ノスタルジア百年老街めぐり』清永安雄  
産業編集センター



歴史ある建物やご当地グルメ、ユニークな商店など個性豊かな老街は、台湾全土に130ヶ所以上あるといわれている。その中から、22ヶ所を厳選して紹介するビジュアルガイドブック。

『マイカー亡国論・再考』上岡直見 緑風出版



1968年湯川利和（長崎造船大学・当時）の『マイカー亡国論』刊行。それから60年、それは現実となった。本書では、マイカー社会の経過と実態を改めて検証し、マイカー社会をどう方向転換すべきかを提案する。

『アメリカ・ミシシッピリバー音楽の源流を辿る旅』牧野森太郎 産業編集センター



北米大陸を南北に貫いてゆったりと流れる大河、ミシシッピ。そこから生まれた、アメリカン・ミュージックのルーツ、そして各地の独特的な食文化を訪ねるフォトエッセイ。

『考察する若者たち』三宅香帆 PHP研究所



なぜ映画を観たあとすぐに考察動画を見たくなるのか？ドラマや漫画の解説を解説する考察記事・動画が流行している背景には、若者を中心に、作品を楽しむだけではなく、考察して“答え”を得ることで“報われたい”という思考がある。

『ニューヨーク、雨でも傘をさすのは私の自由』仁平綾 大和書房



思いがけずニューヨークに住むことになった著者。ある日、自宅に突然ターミネーターがやってきたり、街中でやたらほめられたり、スーパーで忠告されたり…。人生が今よりちょっと自由に感じられるエッセイ。

## 国語科推薦本

『品語辞典』関根健一  
大修館書店



改まった場面で使える言葉「品語」。普段づかいの言葉を見出しとし、それぞの見出しに対応する品語を多数収録。

『無礼語辞典』関根健一  
大修館書店



使い方や使う相手によって無礼になる言葉「無礼語」。無礼語を解説し、無礼になる例文や、言いかえ表現などを多数収録。

『絶賛語辞典』関根健一  
大修館書店



高く評価する言葉、好感を表す言葉、褒め言葉をより強調する言葉など、褒める文脈で使われる言葉「絶賛語」の辞典。

『ことわざ探検のススメ』時田昌瑞 大修館書店 『日本語探究のすすめ』日本語学会 大修館書店



これまでに世界中の学者や研究者が、ことわざについて「定義」してきたが、決定的なものはなかった。そんなことわざの歴史や実像、その使用度の変化などについて深掘りし、ことわざが持つ魅力について迫っていく。



漫才はなぜおもしろい？このグミはぶるぶる？もにもに？気鋭の研究者が日本語研究の魅力を解説。日本語を探究する面白さを、国語教育の現場へ。日本語を対象とした「探究活動」のヒントが満載。

『僕には鳥の言葉がわかる』鈴木俊貴 小学館



「シジュウカラが20以上の単語を組み合わせて文を作っている」ことを世界で初めて解明した研究者。動物学者を志したきっかけ、楽しくも激やせした森でのシジュウカラ観察の日々、鳥の言葉を科学的に解明するための実験方法などを綴る。

『気分の9割は血糖値』小池雅美  
東洋経済新報社



血糖値と気分はほぼリンクしている。そして、血糖値は自律神経ともリンクしている。栄養療法のプロによる、心身のあらゆる不調をよくする栄養以前の大変なこと。心と体の平穏を保ち、人生まで整う本質的メソッド。

『1日1話、読めば心が熱くなる365人の仕事の教科書』稻盛和夫ほか 致知出版社



仕事ができる人はここが違う。一流プロフェッショナル、365人が贈る仕事のバイブル。繰り返し味わいたくなる感動がある。繰り返し口ずさみたくなる言葉がある。人間力と仕事力が身につく。

『そろそろ論語』浅田すぐる 日本実業出版社



このくらいの教養は、身につけておかなければと一念発起し、手に取ってみるけれど…となる、それが『論語』。これならわかる入門書として、『論語』のさまざまな解説書とともに解説していく、14章のガイドブック。